

梶原四丁目用地利活用事業の優先交渉権者の決定について

令和2年6月から公募を実施していた梶原四丁目用地利活用事業について、公的不動産利活用に係る事業者選定審査会（10月19日開催）において行われた審査を踏まえ、最も優れた提案を行った次の応募者を優先交渉権者と決定しました。

今後は、優先交渉権者と協議を行い、協定や契約の締結、許認可等の手続を踏まえて、梶原四丁目用地（野村総合研究所跡地。梶原四丁目7番1号。実測面積約17.5万㎡）の利活用を進めていきます。

1 優先交渉権者

応募者名（グループ名・代表企業名）：

アルビオンアート株式会社

（福岡県福岡市中央区渡辺通一丁目1番2号）

構成企業名：中山マネジメント株式会社

2 事業コンセプト

「環境と調和する宝飾美術館・研究所を中心とした複合施設」



北側より全体鳥瞰

（自然と一体になった地形のような建築）

事業の基本方針・基本コンセプト

本事業に関する本市の政策と提案内容の関係

・本事業は以下の政策や課題に対応するものです。

人口

- ✓ 約30年後に人口が約23%減少
- ✓ 地域の担い手の減少に歯止めをかける（『鎌倉市第4期基本計画』より）

雇用

- ✓ 就業者・通学者の63.1%が市外に流出
- ✓ 「鎌倉で働き、暮らす」新しいライフスタイルの定着（『鎌倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略』より）

社会

- ✓ 互いを尊重し安心して自分らしく暮らすことのできる「共生社会」「市民自治」の推進（『鎌倉市第4期基本計画』より）
- ✓ 「SDGs未来都市」として持続可能な都市経営と新たな文化の創造・発信（『鎌倉市 SDGs未来都市計画』より）

不動産・土地利用

- ✓ 鎌倉・大船・深沢拠点間の連携や新たな人の流れの創出
- ✓ 鎌倉特有の「緑の骨格」を構成し、歴史的遺産・自然環境・現代的な市民生活の融合を果たす（『鎌倉市公的不動産利活用推進方針』、『鎌倉市都市マスタープラン』より）



環境と調和する宝飾美術館・研究所を中心とした複合施設

宝飾美術館

自然とアートの融合

宝飾文化研究所

文化芸術振興

環境に配慮した建築

自然環境との調和

市民の雇用促進

若者から主婦層まで幅広い世代を対象

緑のオープンスペース

緑の環境保全と大きな広場

地域コミュニティとの連携

緑を核とした地域コミュニティの形成

3 提案内容

<施設概要>

延床面積：約 5,700 m²

高さ：19.9m（地上4階・地下1階）

<貸付期間・提案貸付料>

30年間・2,200万円/年

<今後のスケジュール（予定）>

令和2年（2020年）

基本協定締結（12月頃）

令和3年（2021年）

基本契約締結（3月頃）、既存施設の無償譲渡契約等締結、許認可等手続、野村橋の改修等の着工

令和4年～令和5年（2022年～2023年）

既存建物の解体等着工、提案施設の着工（工期24か月程度を想定）

令和6年（2024年）

借地契約締結、提案施設竣工、開館



北側広場外観



南側広場外観（「切通し」をイメージ）

※ 提案内容・画像は提案時のものであり、今後、変更となる可能性があります。また、画像は提案書から引用したものであり、著作権は応募者に帰属します。

※ 次の本市ホームページに、公募に関する情報を掲載しています。

（<http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/facility/pre-propo2020-kaji4.html>）

【事務担当】

公的不動産活用課公的不動産活用担当

電話 （0467）23-3000（内線：2565）